

民衆の文化と地方への広がり

今日の問い

室町時代の文化は、どのように民衆や地方に広がっていったのだろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 文化はどのように民衆に広がったか。

茶の湯・御伽草子

書院造の部屋には ¹ 茶の湯 や ² 生け花 が広まった。民衆の間には「一寸法師」などの ³ 御伽草子 や、歌を次々によみつなぐ ⁴ 連歌、輪になっておどる ⁵ 盆踊り も広まった。

2 文化はどのように地方へ広がったか。

応仁の乱→地方へ

⁶ 応仁の乱 で京都が戦場になると、公家や僧が地方へ移り住み、都の文化が広まった。山口の ⁷ 大内氏 のもとにも公家や僧が移り住んだ。下野の ⁸ 足利学校 には各地から僧や武士が集まった。

年表 — この単元のできごと

1467

応仁の乱が起こる

1477

応仁の乱が終わる

まとめ

今日の問いに答えよう。「茶の湯」「応仁の乱」の2語を使って、2文で書きなさい。

(例)茶の湯や御伽草子、盆踊りなどの文化が、都市の商工業者や民衆の間にも広まった。応仁の乱で京都が戦場になると、公家や僧が地方へ移り、都の文化が地方へ伝わった。

☐ 民衆に広まった文化を3つ言える

☐ 御伽草子と連歌を説明できる

☐ 文化が地方へ広がった理由がわかる

できた ☐ / 8



chiritsumo-drill.com
ほかのプリントは [こちら](#)



ちりつもドリル

学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。

1 / 1

G7-REKI-MINSHU-BUNKA-NOTE-01-A